

第3回安中市総合計画審議会 議事概要

(以下、敬称略)

【日 時】平成25年1月18日(金) 午後1時30分～4時

【場 所】市役所本庁(保健センター)第305会議室

【出席委員】18名(小竹、折茂、奥原、中島、田島、三澤(利)、保々、小俣、須賀、
三澤(美)、森田、金田、大木、山縣、猿谷、武井、斉藤、大塚)

【欠席委員】2名(有阪、羽毛田)

【事務局】4名(総務部長、企画課長、企画調整係長、担当職員)

【コンサルタント】2名(システム科学コンサルタンツ(株)研究員)

【配付資料】

次第

- 1 安中市総合計画後期基本計画(素案)
- 2 総合計画審議会及びその後の委員からの意見について
- 3 安中市総合計画(後期基本計画)策定のための意見募集(パブリックコメント)の結果について
- 4 施策の達成度を示す指標一覧
- 5 安中市総合計画(総論)

【会議経過】

1 開会(司会進行:総務部長)

2 挨拶(会長)

3 協議事項(議長:会長)

- ・協議に先立ち、会長が議事録署名人として田島委員、三澤(利)委員を指名した。

(1) 総合計画後期基本計画(素案)について

＜説明＞コンサルタント

○資料1 安中市総合計画後期基本計画(素案)

○資料2 総合計画審議会及びその後の委員からの意見について

- ・前回の総合計画審議会でもいただいた意見と、その後に委員からいただいた意見を整理し、それぞれについて計画素案に反映したものは修正箇所等を記載し、反映しなかったものはその理由等を記載した。

＜協議結果＞

- ・「基本目標3-基本政策7-【1】生涯学習の基盤整備」の施策展開の方向「(2)生涯学習

推進体制の充実」について、「従事職員を対象とした」の部分は誰を指すのかわからない、職員のことであれば削除した方が良いのではないかと。〔委員〕

→「従事職員を対象とした」の部分がなくても意味が通るので、削除して文言を調整する。〔事務局〕

- ・「基本目標 1－基本政策 2－【2】公共交通整備」の施策展開の方向「(1) 公共交通ネットワークづくり」について、現在デマンドバスの実証運行をしているところだが、高齢社会や交通弱者に対応するといった文言を追加した方が、取り組みの意図が伝わりやすいのではないかと。〔委員〕

→ここでは、主にタクシー利用補助を高齢者を主とする交通弱者対策として想定しており、乗合バス・乗合タクシーは高齢者や学生の利用を想定した記述としているが、冒頭の「市民ニーズに応じた」という部分にご指摘の意味合いを追加することで検討したい。

〔事務局〕

- ・「基本目標 4－基本政策 11－【1】農業の振興」に「有害鳥獣」について記載があるが、現在は河川でのカワウによる被害が大きいので、カワウを追加するか、この部分を農作物に関することを記載するならば、「鳥」を削除しても良いのではないかと。〔委員〕

→スズメやカラスによる被害も問題になっている。〔委員〕

→「有害鳥獣」の文言はこのままとしたい。また、「カワウ」も「サルやイノシシなど」の「など」含めるとしたい。〔事務局〕

- ・「基本目標 3－基本政策 9－【1】芸術文化の振興」の施策展開の方向「(1) 発表・展示機会の充実」に、文化センター等の施設改修について記載がある。また、博物館や多目的展示施設などの整備も視野に検討するとある。さらに、「基本目標 4－基本政策 13－【1】観光の振興」の施策展開の方向「(1) 観光基盤の整備」には、「④まちかど美術館・まちかど博物館・まちかどふれあい交流館の創出」と記載してある。美術団体としては、実際どれに期待して良いのかが分からない。すでにある施設についても、ふるさと学習館など利用者があまりいない施設もあるようだ。〔委員〕

→ただいま審議している基本計画は、市の大きな基本方向について記載するものなので、詳細は実施計画で記載することになる。〔事務局〕

(2) 総合計画後期基本計画（素案）に係るパブリックコメントの反映等について

<説明>事務局

○資料 3 安中市総合計画（後期基本計画）策定のための意見募集（パブリックコメント）の結果について

- ・パブリックコメントを10月30日から11月28日の期間で実施した結果、市民6名から計50項目のご意見をお寄せいただいた。
- ・資料3は、いただいたご意見の要旨と市の考え方をまとめたものである。2月中には市ホームページで公開する予定である。
- ・主な意見として、廃棄物処理施設、放射能汚染、重金属汚染土壌、確氷関所に関するものが多かったが、これらは計画素案には反映しないこととし、その考え方を明記した。

- ・計画素案に反映意見は6点あり、意見番号3、6、9、10、11、15である。

＜協議結果＞

- ・碓氷関所に関する意見が多いようで、私自身も提出した。碓氷関所は貴重な歴史的資源であり、市を盛り上げる起爆剤になりうる。なぜ計画に反映されないのか。〔委員〕
 - 担当課によると、東山道、関所、近代の鉄道などいろいろな文化的資源で形成されており、拙速に結論を出して進めるのではなく、広範囲で慎重な議論をする必要があるということだ。〔事務局〕
 - ここは東山道、中山道、小根山森林公園、坂本宿、鉄道文化むらなどさまざまな資源がある。小根山森林公園の整備は進めているのに、なぜ慎重な議論が必要なのか理解できない。このまま放っておけばジリ貧だ。これでは、まちづくりのビジョンが見えない。碓氷関所と箱根関所は、関東の東西の要であり、安中は400年前から関所のまちなのである。湘南新宿ラインを市まで延ばそうという構想があったが、今のままでは信越線の乗車数も減少し、このまちは沈没してしまう。〔委員〕
 - まちの資源を活かして地域の発展につなげていくにはどうするかが大きな問題だ。その一つとして、より多くの観光客に来てもらうためにハード整備をし、ソフトを絡めることで、観光客にお金を落としてもらい、地域の経済を発展させることができる。このハード整備は、観光協会では難しいので、行政にやってもらわなければならない。観光協会では、大きなビジョンを作成してやることを明確にしようとしたが、そのために必要な費用が行政にはなく活動できなかった。総合計画ですべて網羅することは難しいだろう。しかし、総合計画にないからできないと言わずに、柔軟に当てはめられるゆとりがあると良いと思う。〔委員〕
 - 鉄道文化むらと碓氷関所のエリアは重層的に存在しているので、碓氷関所を全面的に整備するならば、鉄道文化むらを縮小するか移設し、更には国道の付け替えも伴うような大がかりな話になる。計画素案の「基本目標3－基本政策9－【2】文化財保護」には碓氷関所跡などの文化財を活用する方法を「研究・検討」という記載があるが、いつまでも「研究・検討」では困るといったご意見であろう。ただ、本市には現在1,000程度の事業があり、すべてを総合計画に盛り込むことはなかなか難しい。〔事務局〕
 - これまでハード面の投資は認められづかったという背景があるのだろう。ただ今後は、部課と調整しながらプレッシャーをかけてもらうよう検討いただくことでよろしいか。〔委員〕
 - ハード整備が必要というだけでなく、まずビジョンがあり、目標や計画があって始めて物事が動くわけで、その辺りのバランスが取れていけば良いと思う。〔委員〕
 - 最後に一言付け加えたい。以前、市の文化財担当部長係長と国交省や文化庁を訪問したことがあり、その際に文化庁の役人は碓氷関所のことを、箱根と並ぶ、国にとっても重要な宝として見ていると言っていた。また国交省の役人も国の史跡に入れば力を入れると言ってくれた。国も注目していて、もっと集客が見込めるものであることを

付け加えたい。〔委員〕

(3) 指標等について

＜説明＞コンサルタント

○資料4 施策の達成度を示す指標一覧

- ・指標は、市の取り組みの結果、どのような成果が上がったかを測るものさしであって、現状値と計画の最終年度である平成29年度の目標値を掲載する。ただ、市の取り組みの成果を測るためのうまいものさしがないために、一部、指標ではなく近年の推移を掲載するものもある。
- ・指標が、市の取り組みの成果を測るのにふさわしいものか、目標値がふさわしいかについてご協議いただきたい。

＜協議結果＞

- ・指標の設定にあたっては、市の人口予測や就労人口予測などを用いたと思うが、どのように出しているのか。〔委員〕
 - 基本的には、総合計画基本構想に将来の人口見込みを記載しており、この基本構想は10年間変わらないので、そこに掲げた様々な数字を基本として、担当課で微調整しながら、目標値等を算出いただいたと理解している。〔コンサルタント〕
 - 指標の目標値達成のための具体策をより見える化していくと良いと思う。例えば、「自主防災組織率」の目標値を100%としたのは、そのための施策があるからと理解して良いか。〔委員〕
 - おっしゃる通りである。他に、指標の設定に関して、つながりが見えないなどお気づきの点があればご指摘いただきたい。〔コンサルタント〕
- ・「市ホームページへの年間アクセス件数」はこんなものではないだろう。今後、大河ドラマ「八重の桜」の影響は相当大きいと考えている。5年後の目標値としては低いと思うので、もう少し考えてもらいたい。市のホームページでも、「八重の桜」をどんどんPRした方が良い。〔委員〕
 - ホームページの情報はフレッシュでなければならない。今後、相当の投資は必要であろう。〔委員〕
 - 市のホームページは15年前に制作した古いものであるため、これ以上多くの情報を掲載できない状態である。そこで、平成25年度からリニューアルを予定している。〔事務局〕
 - 観光協会のホームページとうまくリンクできるようになれば良いだろう。〔委員〕
- ・指標設定の考え方を入れるとページ数が増えるのではないか。〔委員〕
 - おっしゃる通り、ページ数が増えて見にくくなるため、指標設定の考え方は資料編に移動するよう考えている。なお、主要事業・関連計画も資料編に移動する予定である。〔事務局〕
- ・市道改良率など、指標設定の根拠が分かりづらいものがあるので、解説・算出方法等の

記述について再度検討してもらいたい。〔委員〕

→担当課と協議する。なお、指標については、無理に目標値を出すよりも、これまでの推移などをグラフで表した方が良いという意見も庁内で出ている。〔事務局〕

・本日以降も、指標に限らず、意見を出すことはできるのか。〔委員〕

→来週 23 日の水曜までにいただければ、次回資料の作成時に反映することができる。〔事務局〕

(4) その他

＜説明＞事務局・コンサルタント

○資料 5 安中市総合計画（総論）

- ・資料 1 安中市総合計画後期基本計画（素案）の導入として、資料 5 総論を付ける。
- ・総論には、計画策定の趣旨、役割、構成と期間を記載したうえで、計画策定の前提として、時代の潮流、市の概況、まちづくりの基本的な課題を整理している。

＜協議結果＞

- ・市長が昨年暮れより、住みよい都市 21 番目であることを強調しているが、そのことは計画に入れられないのか。〔委員〕

→雑誌の調査結果で、活力ある都市 21 番目とされた。ただ、それは結果の一部分であって、住みやすい都市としては下位である。今後発展すると思われる都市としては上位となっていたが、総合的には下位にあるので難しいところだ。〔事務局〕

→他市では、民間調査会社の住みやすいまちラインキング上位であることを記載している例もあるが、今は様々な調査があるので記載することは難しいであろう。〔委員〕

- ・総論の中に、これまでの統計データがあるが、計画最終年の平成 29 年の予測値を載せられないか。少子高齢化という暗い感じがするので、高齢者が元気に働いていきいき暮らすイメージを持たせられるように、例えば高齢者数の予測などを載せられないか。ある程度の予測を載せて、目標をつくる必要があると考える。もう一つは安中市の特性や利点をもっと入れたら良いと思う。計画は、暗い方向でなく夢のある方向を示したい。〔委員〕

→人口予測は 10 年間の基本構想に掲載しており、議決されたものなので、今回は見直さないこととした。〔事務局〕

→総論の「まちづくりの基本的な課題」はもう少し前向きな文章となるよう修正を加えたい。〔コンサルタント〕

→データの予測値を出すのは実際かなり難しいだろう。予測値があるものとないものが混在するとバランスが悪い、という事もある。〔委員〕

→会長と少し相談して、どこまで盛り込めるか検討したい。暗いという価値観を入れずに、こういう状況だと客観的に記述するよう検討させていただきたい。〔事務局〕

- ・計画の中で※印のある用語は、後で解説が付くのか。〔委員〕

→巻末に用語解説を掲載する予定である。〔事務局〕

- ・他市では、基本計画部分の見方のページを付けている。〔委員〕
→新たに作成する。〔事務局〕

4 その他

＜事務局より、今後の審議会のスケジュールについて説明＞

5 閉会

以上

議事録署名人

議事録署名人

田島 勉
三澤 利男